

# 「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ.計画・設計・施工の最適化【3】民間技術の積極的な活用 施策12】

## 紙チューブ式無機系接着アンカー工法の採用によるコスト改善

工事名：鹿児島空港地下道耐震対策工事

概要：【当初】あと施工プレート定着型せん断補強鉄筋工法

【変更】紙チューブ式無機系接着アンカー工法

### 効果：

・削孔した孔内にプレート定着型せん断補強鉄筋を差し込み、グラウトを流し込んで固定させる工法から、紙チューブ式のグラウト材で、片側を斜めカットした異形棒鋼を固定させる工法を採用したことにより、工事コスト改善を図った。

・工事費を159百万円から79百万円に改善  
(改善額80百万円 改善率 約50.5%)

鉄筋の両端に突起部を設けることで新設補強筋の80%のせん断耐力が見込める。

突起部はないが新設補強筋の60%のせん断耐力が見込める。

摩擦接合

先端突起体

手前プレート

内壁面側

背面側

D16~D22

2つの径の削孔と鉄筋固定のための養生が発生する。

接着(無機)系カプセルアンカー

異形棒鋼

片面カット

鉄筋長

削孔長

かぶり

グラウト材挿入

せん断補強鉄筋設置状況

当初：あと施工プレート定着型せん断補強鉄筋工法 (PHb工法)

変更：紙チューブ式無機系接着アンカー工法 (RMA工法)